



耐える、続く、魅せる。

瓦屋根の語る琉球諸島の歴史

建築博物教室 第2回 公開ギャラリーセミナー

シマのアーキテクチャ

石井 龍太 (城西大学経営学部マネジメント総合学科助教/歴史考古学・民族考古学)

日時：2014年6月8日(日) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要)

シマのアーキテクチャ

石井 龍太



西表島網取村跡の瓦屋跡(近代)。地元産の赤瓦の他、大阪から持ち込まれた黒瓦が混在する。



丸瓦



平瓦

私は考古学、文献史学、民俗学といった様々な手法を用いて、琉球諸島を中心にアジアの近世、近代史を追究する研究を続けてきました。遺跡から出土する多くの遺物は、文字や言葉が語らない歴史を雄弁に語ってくれます。これまでに建築、園芸、喫煙、畜産といったテーマを扱ってきましたが、今回のセミナーでは琉球諸島の瓦屋根を中心に、世界の様々な事例と比較しながら論じてみたいと思います。講演をきっかけに、今までとちょっと違った琉球と屋根の見え方が皆さんに芽生えてくれると嬉しく思います。



東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)

入館料: 無料

休館日: 月・火・水曜日

(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、その他博物館が定める日

アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩8分

<http://www.um.utokyo.ac.jp/architectonica/index.html>



石井 龍太 (いしい りょうた)

略歴:

- 2005年 東京大学大学院修士課程 修了
- 2009年 東京大学大学院博士後期課程 単位満了退学
- 2009年 東京大学人文社会系研究科にて博士号(文学)取得(学位論文『琉球近世物質文化の多角的研究』)
- 2010年 日本学術振興会特別研究員 PD
- 2013年 東京大学総合研究博物館特任研究員
- 2014年 現職

著書: 『島瓦の考古学 琉球と瓦の物語』
新典社 2010年



琉球士族の屋敷門(17世紀 首里)

建築博物教室とは?

「アーキテクチャー」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ

KOISHIKAWA Annex.

UMUT

東京大学総合研究博物館小石川分館